

# 令和5年度 社会福祉法人白老町社会福祉協議会事業計画書

## 基本方針

国は新型コロナウイルス感染症の感染症法における位置づけを、規制の緩い分類に変更することや、マスク着用緩和等を発表しました。これらを受け、人々の行動様式は急速にコロナ前の状態に戻りつつあります。

これまで「新しい生活様式」の中で人と人との接触機会等が減少していた地域社会も3年ぶりに様々な事業が復活してきております。

こうした社会情勢の変化の中、停滞していた地域福祉の活性化のため、地域住民やボランティア・地域の多様な主体と共に福祉課題を解決できる地域づくりを推進していきます。

また白老町における人口減少や高齢化の進展などにより、会費など運営財源の減少や介護保険事業の担い手不足など経営に及ぼす影響は多岐にわたります。引き続き事業の効率的運営や自主財源確保を進めると共にマンパワーの発掘・育成などを行ない経営の安定化を図っていきます。

なお、今年度は「第5期地域福祉実践計画」の4年目に当たります。引き続き「ともに支え合う安心・安全・福祉のまちづくり」の基本目標の下、地域のつながりを絶やさない地域福祉活動を展開してまいります。

1 長く開催が困難な状況に陥っていた地域のサロン活動は、当会地域生活支援コーディネーターの働きかけなどによってコロナ前の活動団体数を超えるまでになっております。

今年度は、これまで築いてきた地域との関わりを活用して更に新規サロン活動の掘り起こしを行い、地域における高齢者の繋がりを創設し孤立の防止を図っていきます。

2 判断能力が衰えた方の福祉サービス利用支援や金銭管理などを行う、日常生活自立支援事業は受託開始から2年目を迎えます。新規利用者や相談件数も増加し、サービス利用者はこのサービスを利用することにより安定した日常生活を取り戻すことができるようになってきています。

引き続きサービスの充実を図ると共に、サービスの周知に努め町民の権利擁護を推進していきます。

3 自然災害が各地で多発する中、災害ボランティアセンターが担う役割は年々大きくなってきています。引き続き災害時に迅速に対応できる体制整備をすすめると共に、防災講座を開催し、避難行動要援護者に対する適切な対応について啓発をすすめていきます。

4 介護保険事業は、前年度財源構造の見直しなどを行なったことにより、一定の経営改善を図ることができました。今年度も更に経営の健全化を進め財政の黒字化を目指します。

また次年度は国が定める介護報酬の大幅改定時期になるため、新しい介護報酬体系の情報収集に努め、新介護報酬体系下でのサービスの質向上とそれに伴う体制整備を進めます。